

とを踏まえ、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

▽館林市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例  
▽特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部改正に伴い、特定教育・保育施設における副食費の徴収基準を改めるなどの所要の改正を行うため、本条例の一部を改正しようとするもので、賛成多数で可決されました。

▽館林市保育の必要性の認定に関する条例の一部を改正する条例  
▽子ども・子育て支援法及び同法施行規則の一部改正に伴い、引用条文にずれが生じたことから、所要の改正を行うため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

本年11月5日から、申請者に限り住民票及び個人番号カードに旧氏を現在の氏と併記する取扱いが開始されることに伴い、印鑑登録原票及び印鑑登録証明書においても、旧氏を記載する改正を行うため、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

▽館林市公共下水道事業及び農業集落排水事業の設置等に関する条例  
▽館林市公共下水道事業及び農業集落排水事業並びに農業集落排水事業に地方公営企業法の財務規程等を適用するため、館林市下水道事業施設の設置に関する条例の全部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

▽館林市地域し尿処理施設等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例  
▽館林市公共下水道事業及び農業集落排水事業に地方公営企業法の財務規定等を適用するため、並びに消費税及び地方消費税の合計税率が8%から10%に改定されることに伴い、使用料に当

該消費税等相当額を加算するため、本条例の一部を改正しようとするもので、賛成多数で可決されました。

▽館林市附属機関設置条例の一部を改正する条例  
▽下水道事業の円滑な運営を図るため、新たに館林市下水道事業審議会を設置するに当たり、本条例の一部を改正しようとするもので、全員一致で可決されました。

▽館林市立幼稚園保育料徴収条例を廃止する条例  
▽子ども・子育て支援法等の一部改正により、幼児教育・保育の無償化が実施されることに伴い、幼稚園保育料の徴収事務を規定する本条例を廃止しようとするもので、全員一致で可決されました。

### 条例の廃止

### 補正予算

70万6000円とするもので、賛成多数で可決されました。

▽令和元年度館林市下水道事業特別会計補正予算(第1号)  
▽令和元年度館林市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)  
▽令和元年度館林市介護保険特別会計補正予算(第2号)  
▽令和元年度館林市介護保険特別会計補正予算(第2号) (全員一致で可決)



### 報告

▽平成30年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告  
財政の健全化に関する法律において、財政の早期健全化及び財政の再生並びに公営企業の経営の健全化を図るべき基準が設けられ、具体的な指標である実質赤字比率及び連結実質赤字比率については、実質収支及び連結実質収支が黒字であることから赤字比率はなく、

実質公債費比率は4・9%、将来負担比率は99・1%であり、また、公営企業会計における資金不足比率については、資金不足額が生じていないことから資金不足比率はなく、全ての健全化判断比率及び公営企業会計における資金不足比率ともに、国の判断基準以下の数値となっておりとの報告がありました。

### 平成30年度決算

▽平成30年度館林市歳入歳出決算の認定について  
一般会計の決算の概要は、最終予算額290億1500万5000円に対し、歳入決算額は297億1975万928円で、予算に対する収入率は102・43%です。また、歳出決算額は276億765万262円で、その執行率は95・15%となり、歳入歳出差引残額は21億1210万666円となります。このうち、翌年度へ繰り越すべき財源3865万円を差し引いた実質収支額は、20億734